

音楽集会「盆踊り」

8月12日の朝の活動では、音楽集会を行いました。今回のテーマは「盆踊り」。福岡県の民謡「炭坑節」に合わせて、児童生徒全員が輪になり、和太鼓の軽快なリズムに乗って踊りました。初めて踊る人もすぐに振りを覚え、仲間と一緒に楽しそうに体を動かす姿が見られました。

盆踊りは、日本の夏の風物詩として古くから親しまれてきた伝統的な踊りです。地域の人々が輪になって踊ることで、祖先を敬い、仲間とのつながりを深める文化的な意味を持っています。今回の集会では、日本の音楽文化に親しみながら、音楽の楽しさを味わい、表現する喜びを感じることを大切にしました。

みんなで一緒に取り組むことで、仲間とつながる温かい気持ちが広がり、日本やメキシコの音楽文化を分かち合う場ともなりました。児童生徒にとって、音楽の豊かさを心で感じ、国境を越えて自然に心が結びつくようなひとときとなりました。

